

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

製材所におけるチップを有効利用した
清滝温泉事業

排出削減事業者名：キタヤマコーポレーション株式会社

排出削減事業共同実施者名：九州電力株式会社

排出削減事業共同実施者名：三菱商事株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	キタヤマコーポレーション（株）
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	源泉野天風呂 那珂川 清滝
住所	福岡県筑紫郡那珂川町大字南面里字川床 326
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	九州電力（株）
排出削減事業共同実施者名	三菱商事（株）
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

製材所におけるチップを有効利用した清滝温泉事業

2.2 排出削減事業の目的

温泉加温用ボイラーを、重油焚きボイラーから木質バイオマス焚きボイラーに転換することにより、重油使用量・CO₂ 排出量を削減するとともに、製材所から発生するチップの有効活用を推進する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ボイラーの更新により、A重油から木質バイオマスへの燃料転換を行うことにより、CO₂の 排出削減を行う。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

木質バイオマスボイラーの補機電力について、方法論の規定に従い、事業実施後排出量からリーケージ排出量に変更した。【第3回目実績報告時に変更承認済み】

排出削減事業共同実施者に変更があり、株式会社F Tカーボンが1社増加した。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年4月10日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2012年4月1日 ~ 2013年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

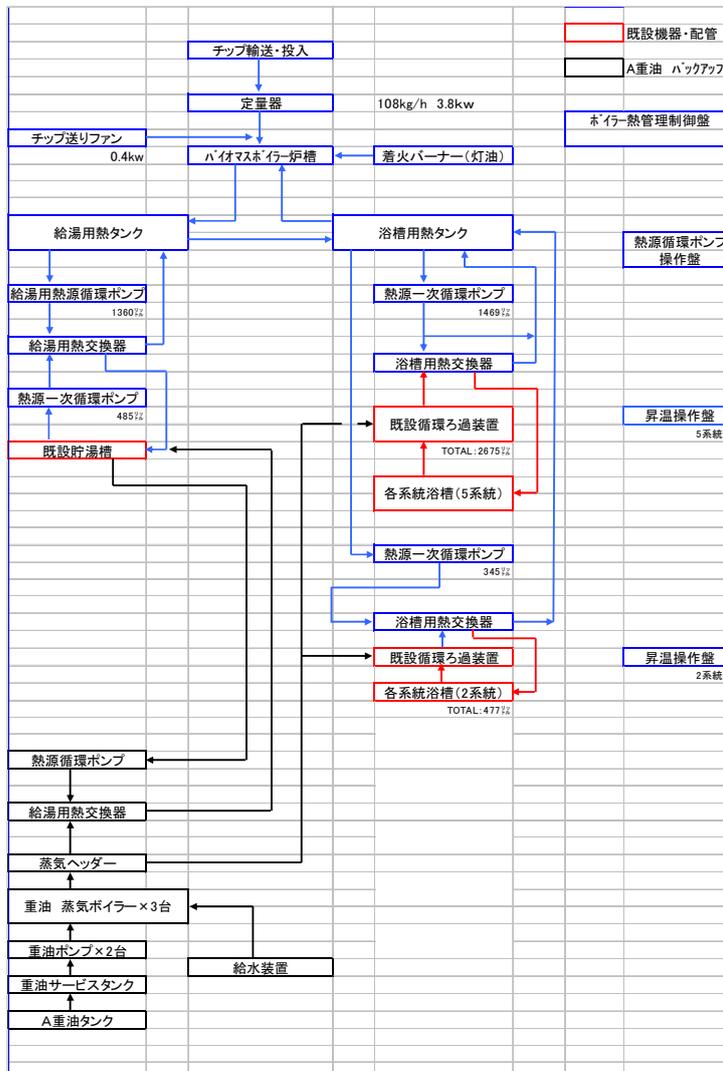
4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に 変更ある場合) 変 更理由
$F_{fuel1,Pj}$	事業実施後チップ 使用量	t	784.3	チップ供給者からの請求書	変更無
$F_{fuel2,Pj}$	事業実施後 A 重油使用量	L	98,500	燃料供給会社からの請求書	変更無
$HV_{fuel1,Pj}$	チップの単位発熱量	GJ/t	17.4 (高位発熱量)	計測	変更無
$HV_{fuel2,Pj}$	A 重油の単位発熱量	GJ/L	0.0391 (高位発熱量)	デフォルト値	変更無
ε_{PJ-1}	事業実施後の木質バイオマ ス燃きボイラー効率	%	80.5 (高位発熱量)	計測	変更無
ε_{PJ-2} ε_{BL}	事業実施前・事業実施後の 重油焚きボイラー効率	%	85.5 (高位発熱量)	技術仕様書	変更無
$CF_{fuel,BL}$	A 重油の単位発熱量あた りの炭素排出係数	tC/GJ	0.01890	デフォルト値	変更無

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
98,500 (L)	0.0391 (GJ/L)	0.01890 (tC/GJ)	266.9
EM _{PJ}			266.9

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
784.3 (t)	17.4 (GJ/t)	0.01890 (tC/GJ)	890.4
80.5 (%)			
85.5 (%)			
98,500 (L)	0.0391 (GJ/L)	0.01890 (tC/GJ)	266.9
85.5 (%)			
85.5 (%)			
EM _{BL}			1,157.3

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0.0
LE			0.0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	1,157.3
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	266.9
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	890

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

モニタリング期間 (2012年4月1日 ~2013年3月31日)			
	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (実績)	原油換算 (実績)
バイオマス利用量	784.3t	13,647Gj	352.1kl